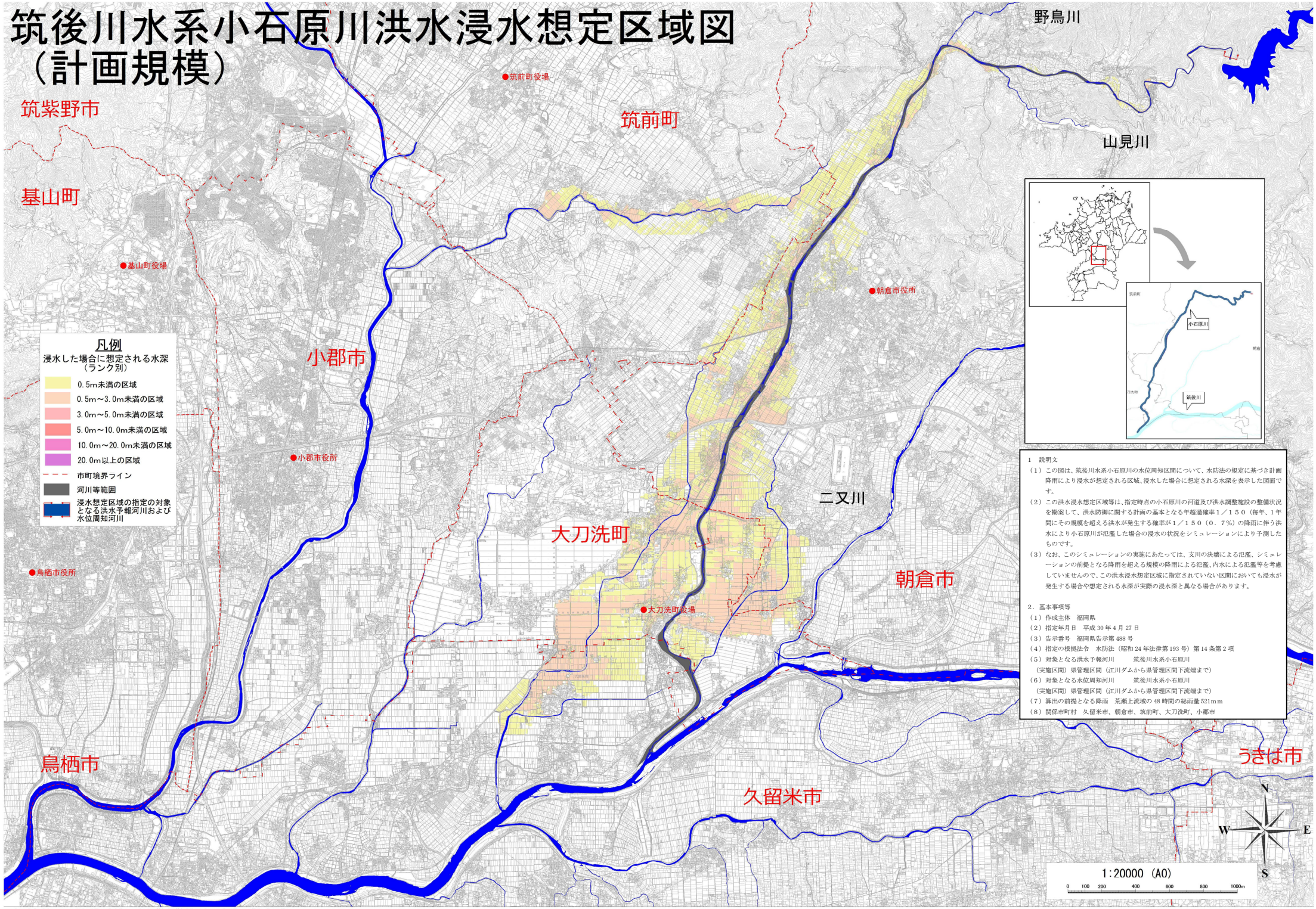
筑後川水系小石原川洪水浸水想定区域図
（計画規模）



1　説明文

（1）この図は、筑後川水系小石原川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域等は、指定時点の小石原川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７％）の降雨に伴う洪水により小石原川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区間においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）作成主体　福岡県

（2）指定年月日　平成 30 年 4 月 27 日

（3）告示番号　福岡県告示第 488 号

（4）指定の根拠法令　水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 2 項

（5）対象となる洪水予報河川　　筑後川水系小石原川
（実施区間）県管理区間（江川ダムから県管理区間下流端まで）

（6）対象となる水位周知河川　　筑後川水系小石原川
（実施区間）県管理区間（江川ダムから県管理区間下流端まで）

（7）算出の前提となる降雨　荒瀬上流域の 48 時間の総雨量 521mm

（8）関係市町村　久留米市、朝倉市、筑前町、大刀洗町、小郡市

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平29情使　第1580号）
この地図は、久留米市、大刀洗町、小郡市、筑前町、鳥栖市、朝倉市及びうきは市の都市計画基図を複製したものである。